

## インタビュー 「地域の支えが大きな力に」



よこやま しげ お  
**横山重雄さん**

市内でケーキショップ「ヨコヤマ」を40年以上営みながら、認知症の妻の洋子さんを介護している。

ご自身の経験から介護をしている家族が交流する場が必要と考え、若年性認知症の家族が集う「東胆振ひまわりの会」の会長としても活動を行っています。

### 東胆振ひまわりの会

若草町5丁目1-5  
北海道メンタルケアセンター高齢者相談室内  
☎(34)2969

お店で接客に立っていた妻が、7年前に若年性認知症と診断されました。釣り銭の間違いや常連客の顔を忘れるなど、いつもしていたことができなくなり、お客様からの苦情が増え、お店の売り上げも激減するという大変な状況に加え、夫としても認知症の妻にどう接してよいかわからず、一人悩んでいました。当時は閉店を考えたこともありましたが、正直に妻の状況を伝え、お客様に理解してもらうことで、状況を変えられるのではないかと考えました。

この話を商店街の仲間話すと快く協力してくれました。パソコンが得意ではない私に代わって、店頭で妻の病気を知らせる貼り紙を作ってくれたり、悩みを聞いてくれたりと、小さなことかもしれませんが、とても心強くうれしかったですね。妻の症状が進み、徘徊が始まった時でも、地域の方が目撃情報を寄せてくれ大変助かりました。貼り紙をしてから、お客様の理解が広まったことで「奥さんは元気かい」と気遣いや励ましの言葉をもらうようになり、売り上げも次第に戻ってきました。

認知症を理解することは、認知症の人に実際に接して初めて分かることもあり、簡単なことではありません。長い時間がかかりますが、理解が広まり思いやりの心が育つとうれしいですね。地域の人が自然と救いの手を差し伸べてくれる思いやりが、認知症の方と家族を支える大きな力となります。

一緒に学ぼう！

認知症予防講座

『認知症予防の虎の巻

パート1』

とき 8月21日(金)

10時～12時

ところ 市民活動センター

対象 65歳以上の市民

内容

【講義1】

認知症について

講師・認知症地域支援推進

員 桃井 直樹氏

【講義2】

脳にも栄養を！

バランス生活

講師・介護福祉課職員

定員 30人 申し込み順

申し込み 8月4日(火)から

前日までに介護福祉課 ☎

(32)6347

